

当院の新型コロナウイルス感染について（第9報）

（2020年12月2日 12時現在）

12月1日クラスター発生病棟以外の職員の感染が確認されました。現時点で、入院患者4名、退院患者2名、職員（委託社員含む）14名の計20名の感染が確認されております。

現在、当該病棟に関連する入院患者および職員を対象にPCR検査を実施しています。

なお、診療体制については、引き続き一部制限をさせていただいております。

地域住民の皆様には多大なご迷惑・ご心配をおかけしております。一日も早い終息に向けて全力を尽くしておりますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

公立福生病院
院長 松山 健

1 現在の診療体制

- ① 外来診療 予約患者のみの診療（新規予約は受け付けておりません）
- ② 救急外来 救急外来患者の受入中止
- ③ 入院診療 新規入院の受入中止（退院はPCR検査の確認後、転院は中止）
- ④ 検査 通常どおり
- ⑤ 手術 緊急性があるものを除き中止

2 現在実施している感染対策

- ① 初期対応の迅速化
入院患者さんの発熱等の症状を観察し、感染が疑われる患者さんの早期発見に努める。症状のある職員の就業制限による感染伝播、拡大リスクの低減を図る。
- ② 患者さん及び職員へのPCR検査の実施
- ③ 標準予防策の徹底
手指衛生、防護具の適正使用をはじめとした感染対策の徹底と再教育。
- ④ 病棟間移動の最小化
患者さん、職員の病棟間の移動を制限し、感染伝播の防止を図る。

3 問い合わせ先

患者支援センター 地域医療連携室